

# 市報 おがや

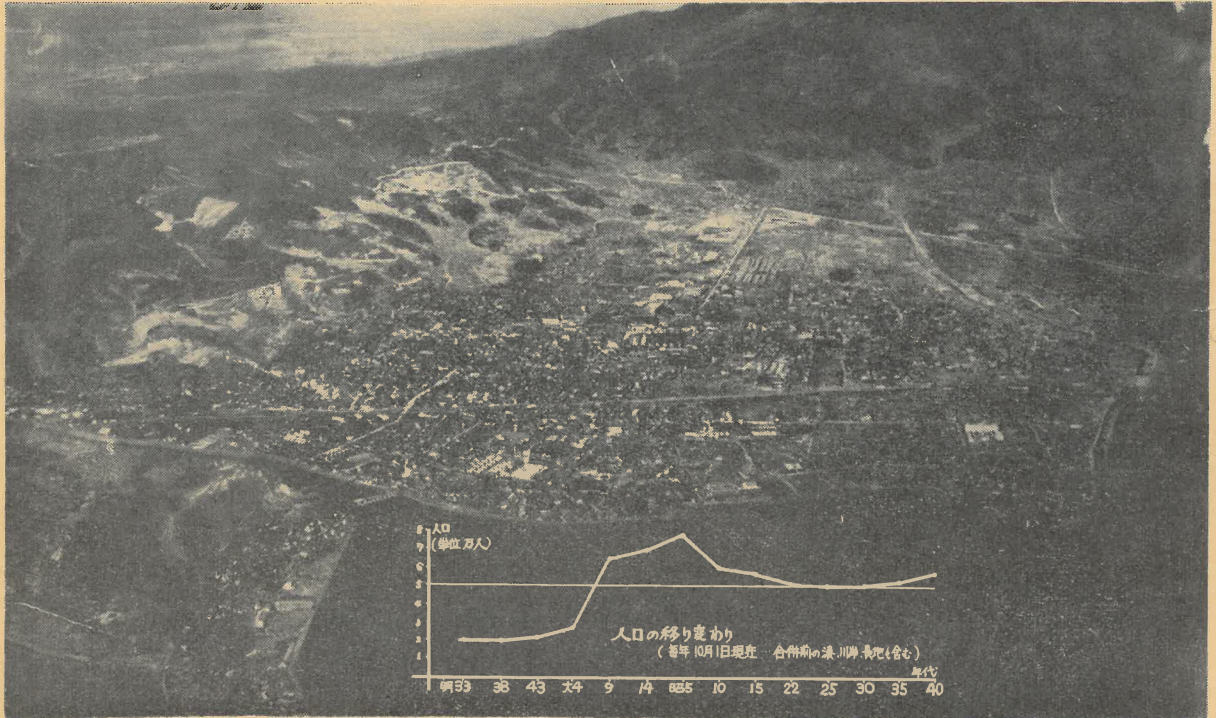
No. 299 昭和41年 4月1日号 発行 岡谷市役所

## 今月の行事

- ☆…1日、市制施行30周年記念式、市政功  
労者表彰式、新会計年度開始、入学式…☆
- ☆…1日～7日、春の火災予防運動…☆
- ☆…7日、世界保健デー…☆
- ☆…10日から第18回婦人週間…☆
- ☆…17日、青少年保護デー25日国連記念日☆

(昭和二十六年五月十八日)  
第三種郵便物認可

(毎月一日十五日発行)



## 岡谷市が生まれて30周年

昭和11年4月1日、平野村から岡谷市になって、こ  
して30周年。工業都市岡谷はますます発展しています。

明治33年、現在の市域における人口は19,869人でした  
が、昭和5年には77,324人と急激に増加しました。

それというのも、当市における製糸業発展の歴史が、  
そのまま市勢につながっているものであったからです。

昭和5年、その全盛期には釜数21,688を数え、従業者  
27,057人、年間2,650トン(約706,700貫)の生糸を生産  
し、シルク岡谷の名は全世界にとどきました。

戦後になっては、精密機械工業が著しく発展し、工業  
都市としての岡谷は東洋のスイスといわれるまでにいた  
っています。昭和39年における市内事業所数は775、工  
業出荷額は289億4千万円にものぼっています。

人口もことしの1月1日現在57,033人となり、年々増  
加の傾向をたどっています。

市制施行30周年は、私たちでいえば成人になったとも  
いえましょう。これからますますのびる岡谷市、そして  
住みよいまちにするため、みんなで努力したいものです

### 市政功労者を表彰

四月一日に次のかたが  
市政功労者として表彰さ  
れました。(敬称略)

### 自治功労者

市議会議員(10年以上勤  
続) 小口長重、小松宗次  
市職員(25年以上勤続)  
林篤蔵、滝沢清正、田  
島慶一郎、松井条治、今  
井喜与美、早出定美  
◎寄附者 山田ちかよは  
か三十七名、中島製作所  
ほか五十一法人、湊小P  
TAほか十七団体。



### 消防設備は

つねに点検して

四月一日から七日まで  
春の火災予防週間です。

○火災を未然に防ぐため  
燃焼器具の手入れなど、  
つねに発生原因をなくす  
ように努めましょう。

○消防用設備はいつでも  
使えるよう整備点検して  
おきましょう。

○避難訓練もたいせつで  
す。まず老幼婦女子の退  
避を優先に。

○火災通報は一一九、長  
地と赤電話は四一一九

市報はつつつと便利です。

(毎週一三、〇〇〇部印刷、全日本配布)

一般会計・特別会計

総額 13 億 731 万円

昭和41年度予算きまる

昭和四十一年度一般会計および特別会計あわせて約十三億七千万円の予算と、企業会計予算が成立しました。  
なお、事業のあらまきは前号でお知らせしました。

一般会計

特別会計

- 国民健康保険事業  
九千三百九十六万三千円
- 農業共済事業  
八百九十五万三千円
- と畜場事業  
百六十九万二千円
- 宅地造成事業  
一億一千七百三十万一千円

一般会計歳入歳出予算 (40年度)

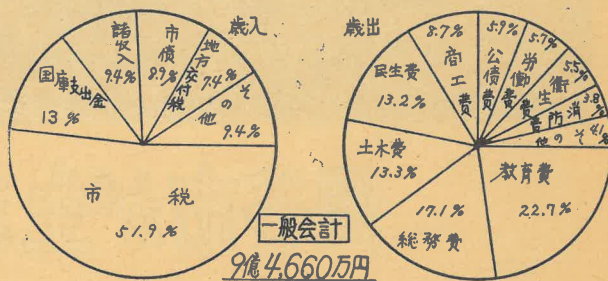
| 区 分   | 予 算 額        | 前年当初と比較      |
|-------|--------------|--------------|
| 市 税   | 4億9,170万 円   | 増 5,777万3千円  |
| 地方交付金 | 7,000万 "     | " 1,000万 "   |
| 地方負担金 | 1,689万7千 "   | " 240万 "     |
| 使用料   | 2,727万7千 "   | " 268万7千 "   |
| 国庫支出金 | 1億2,321万5千 " | " 3,405万 "   |
| 県支出金  | 1,002万2千 "   | 減 318万7千 "   |
| 財産収入  | 3,373万6千 "   | 増 2,535万2千 " |
| 寄附収入  | 12万 "        | 減 90万4千 "    |
| 諸収入   | 8,903万3千 "   | 増 751万5千 "   |
| 市債    | 8,460万 "     | " 20万 "      |
| 繰入金   | —            | 減 9万 "       |
| 歳入合計  | 9億4,660万 円   | 増1億3574万6千円  |

歳 出

| 区 分    | 予 算 額        | 前年当初と比較      |
|--------|--------------|--------------|
| 議会費    | 1,988万7千円    | 増 289万4千円    |
| 総務費    | 1億6,138万5千 " | " 384万6千 "   |
| 民生費    | 1億2,484万 "   | " 1,124万3千 " |
| 衛生費    | 5,246万 "     | " 1,629万9千 " |
| 労働費    | 5,347万9千 "   | " 34万2千 "    |
| 農林水産業費 | 1,829万8千 "   | 減 111万9千 "   |
| 商工費    | 8,226万4千 "   | 増 1,121万1千 " |
| 土木費    | 1億2,631万7千 " | " 1,910万7千 " |
| 消防費    | 3,608万5千 "   | " 600万8千 "   |
| 教育費    | 2億1,438万3千 " | " 5,323万3千 " |
| 公債費    | 5,620万2千 "   | " 1,268万2千 " |
| 予備費    | 100万 "       | 0            |
| 歳出合計   | 9億4,660万 千円  | 増1億3574万6千円  |

○岡谷病院事業  
事業収益二億五千二百八十一万一千円、事業費用は同額  
資本的収入四千五百八十五万円、資本的支出六千三百五十四万円。  
○塩嶺病院事業  
事業収益一億六千四百四十九万一千円、事業費用は同額。

しかし、その後、旧三水道との話し合いや、市議会建設委員会の意向もあって、料金問題を早く解決するためにもここでは、五月三十一日まで二か月間の暫定予算を組むこととなったものです。  
ですから、前号でお知らせした小坂、赤砂地区の未給水



地区解消の事業費は計上されないこととなりました。

- ① 双葉と下葉を早く大きく
- ② 発芽後は、やや高い温度とじゅうぶんしめりを与える。
- ③ 発芽後、夜間の温度が高いと必要以上に長くなりま
- ④ 温度が低く、乾くと双葉や下葉が大きくならず
- ⑤ むやみに長くばかり育てない
- ⑥ 発芽後は温度と風通しを考え、徒長を防ぐ。
- ⑦ 双葉が触れ合わないようによく開

果 菜 の 苗 の 育 て か た  
水 は 午 前 中 に か け て

- ① 適期をはずさないこと
- ② キウリは発芽後三日めくらの双葉が開き始めたころ。ナス、トマト、ピーマンは種まき後二十五日くらいの本葉、第一葉が出たころ。
- ③ 根をいためない
- ④ 苗をそろえる
- ⑤ 苗の移植距離は九センチメートル間隔に。
- ⑥ 病苗やくず苗はおしらず捨てる。
- ⑦ 移植床は親床より温度を高く
- ⑧ 移植の際、以前の親床より必ず摂氏一二度高く。

家庭園芸 ①

岡谷市が昭和十一年四月一日に市になって、ことしで三十周年を迎えました。

生糸の都として広く世界に知られた岡谷は、いまでは東洋のスイスといわれる近

代的な精密工業都市に変わり、隣接湊、川岸、長地の合併から市域も拡大し、さら

に新産都市の指定地域にはいるなど、めざましい発展をとげてきました。

市制施行三十周年を記念して岡谷市の歴史をふりかえってみたいと思います。

# 大岡谷市建設の歩み

市制施行30周年 記念特集

## 平野村から岡谷市に

### 明治以前の岡谷

この地方に、古くは約六千年前の縄文式文化時代から先住民の生活があったことが遺跡からわかっています。岡谷の名がはじめて文献にみられるのは、約千年前の平安朝時代で、天皇の牧場として岡谷牧があったとあります。そして治承年間には官牧から荘園に変わり、上社・下社

の争いや武家の争奪に終始した時代、さらに戦国末期になり、この地も武田氏、織田氏、諏訪氏、日根野氏ら武家の領地としていくどか変転しました。慶長六年江戸幕府からようやく諏訪氏が旧領を与えられ、長くその領地になりました。

### 明治以後の岡谷

やがて明治維新をむかえ、

からであります。

岡谷市制が施行されて三十周年をむかえ、心からお祝いを申しあげます。

こんにちの

### 魅力ある都市づくりに努力

岡谷市が近代

的な工業都市

としてます。す

題は数多くあり、解決もして

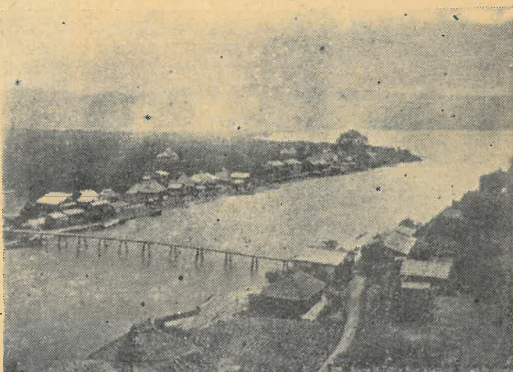
いますが、市の発展が続くか

演説する市長



いたします。

豊かな魅力ある都市づくり、いっそう努力



筑摩県下に属しました。

ここに初めて完全な郡県政治が行なわれることになったわけです。

明治九年八月二十

一日、筑摩県が廃止

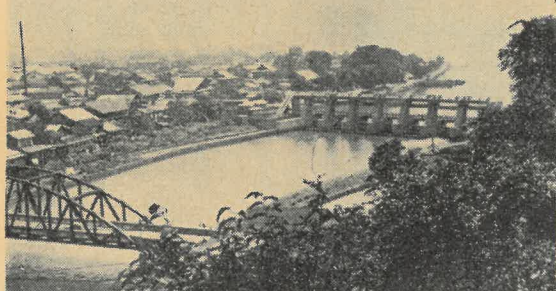
(県庁が火災で全焼したため)され、長野県に合併されてこ

んにちに至っています。

【写真】

右：明治十年釜口橋附近

左：現在の釜口橋附近



堀、若宮新田、小梅沢新田、岡谷、今井の七か村が合併。明治八年十月、旧小坂、花岡の二か村が合併。

川岸村 明治七年十月二十二日 旧橋原、鮎沢、駒

沢、新倉、三沢の五か村合併 明治七年十月十三日

長地村 旧西山田、卓堀、

卓山田の三か村が合併。

地方自治の確立

明治二十一年市制・町村制が公布、二十二年に施行されることになり、日本の地方自治制が確立、整備されたわけ、各村ごとに村会議員の選挙が行なわれました。

昭和十一年四月一日、平野村に市制が施行され岡谷市となりました。

湊・川岸・長地合併

昭和三十年一月一日に湊村、同年二月一日に川岸村が岡谷市にそれぞれ合併、

昭和三十三年三月二十五日に長地村も合併しました。

昭和三十三年七月一日には長地の東町、

卓山田の二部落が、分市しました。

岡谷市はこうした経過をたどってきました。

# 水門の建設費が32万円

明治から現在まで 岡谷のできごと

明治後期からの岡谷において  
できごとのあらましをひら  
つてみましょう。(明：明治  
大：大正、昭：昭和)

- 明治33 諏訪製糸同業組合発足
- 明治34 村内自転車台数4台。
- 明治35 諏訪製糸同盟できる。
- 明治36 初めて電灯がつく。
- 明治38 鉄道が岡谷まで開通。
- 明治39 伏見宮貞愛親王ご来岡
- 明治40 中央線開通(工費八千
- 明治43 平野製糸共同病院(い
- 明治42 天竜川釜口附近の掘下
- 明治42 げ工事に着手。



大4 岡谷公園開園  
大8 乗用自動車第一号

## 学校の移り変わり

明治5年学制がしかれ、各村に次のように最初の  
の学校が設立されました。

- |            |          |
|------------|----------|
| 西山田村…西山田学校 | 間下村…簡重学校 |
| 東堀村…柴宮〃    | 小尾口村…菅池〃 |
| 小井川村…格知〃   | 新倉村…柳原〃  |
| 西堀村…無事〃    | 花岡村…花岡〃  |
| 岡谷村…岡谷〃    | 小坂村…立志〃  |

明治22、学制改革、明治25、小学校令施行により尋常  
小学校となりましたが、その前後にも合併学  
校や支校、派出所、分教場など多くの変転が  
ありました。

明治45、平野農蚕学校が開校(いまの岡工)。大8  
平野蚕糸学校、大9、諏訪蚕糸学校、昭和13、  
岡谷工業学校と改称。

大2、平野農蚕学校に女子部設置(いまの東高)  
大4、独立して平野実科高等女学校、大9、  
平野高等女学校、昭和4、諏訪第二高等女学校  
昭和11、岡谷高等女学校と改称。

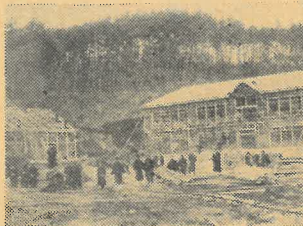
大10、岡谷、小井川、今井の三校と平野高等小学  
校を合併して平野尋常高等小学校とし、岡谷  
上部、岡谷下部、小井川部、今井部、高等部  
の5部に分かれました。

大12、この高等部を中央部と改称。  
昭和5、岡谷上部と下部を合同し岡谷部と  
総称、また、田中部が開校しました

昭和15、市立岡谷中学校設立(いまの南高)

昭和16、岡谷尋常高等小学校の5部校が独  
立し、各国民学校となりました。

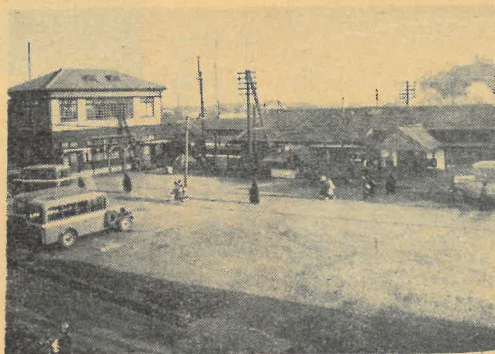
昭和22、6・3制実施により、国民学校は  
小学校となり、新制中学として北部、中部、  
南部、湊、川岸、長地中学が設置されました  
昭和32年から、小中学校を適正規模とし、学校  
整備をはかるため、統合、廃校や学校建築をすす  
めてこんにちにいたっています。



【写真】  
上：明治39年  
平野村南部  
中：いまの岡  
谷小学校建築  
現場

- 大9 製糸同盟組合と名古屋  
鉄道局は職工団体輸送  
の協定書をつくる。
- 昭和12 川岸駅ができる。
- 昭和13 湖北商市場ができる。
- 昭和15 湊村役場新築
- 昭和15 政府が中央線の下諏  
訪―塩尻間直通とい  
う新線案を出したた  
め混乱。
- 昭和3 湖北消防同盟が結成
- 昭和4 普通選挙による第一  
回村会議員選挙。
- 岡谷連合商業会設立

- 昭和5 生糸の輸送が速達扱い  
となる。
- 諏訪蚕糸学校が甲子園  
大会(野球)で準優勝
- 洪水で諏訪湖が大氾濫
- 電話が自動式に(六大  
都市を除き全国最初)
- 川岸村役場新築
- 平野消防組に常設部で  
き庁舎新築
- 当地方に多条式操業機  
械が採用される。
- 5月23日市制施行祝賀  
式と市役所庁舎落成式
- 長野県商検  
定所が設置
- 釜口水門が  
完成(工費  
約三十一万  
七千円)。
- 保健所が設



- 昭和17 置される  
社団法人岡谷商工会議  
所が発足。
- 昭和20 図書館が開館。
- 昭和22 食糧事情最悪となる。
- 昭和23 天皇陛下がご巡幸
- 昭和24 東芝川岸工場に労働争  
議おこる(24年解決)
- 昭和24 皇太后が日本蚕糸会総  
裁としてご来岡

- 昭和29 岡谷塩嶺療養所が開所  
NKKK岡谷諏訪放送局  
が開局。
- 昭和30 自警警察が県警に移管
- 昭和30 岡谷病院・保健所火災
- 昭和32 県精密工業試験場、岡  
谷養老院が開所
- 昭和34 市民会館落成
- 昭和35 義宮ご来岡
- 昭和36 消防団の機構改革
- 昭和36 皇太子ご夫妻がご来岡
- 昭和36 安全都市を宣言
- 昭和37 竜上高一部焼失
- 昭和37 飯田線上諏訪  
駅まで乗入れ実  
現
- 昭和38 横河川大だくみ  
沢災害
- 昭和38 公明選挙都市  
を宣言
- 昭和39 天皇・皇后ご  
行幸啓
- 昭和39 松本諏訪地区が  
新産業都市に指  
定。
- 岡谷市公民館、  
蚕糸博物館、湖北衛  
生センターし尿処理場完成
- 国鉄中央東線の複線化  
にともなう諏訪―塩尻  
間短絡問題おこる。
- 諏訪都市合併問題が機  
運高まる。
- 中央自動車道の諏訪ま  
わりがきまる。
- アメリカ合衆国マウン  
トブレザント市と都市  
提携できる。

- 昭和25 裁としてご来岡
- 新野球場完成
- 岡谷市歌発表会
- 各区ごとの秋祭り統合
- 第一回秋の岡谷まつり
- 第一回春の岡谷まつり
- 皇太子がご来岡
- 復活第一回岡谷だるま  
まつりが行なわれた。
- SBC岡谷局開局
- 高松宮お立ち寄り。

- 昭和40 蚕糸博物館、湖北衛  
生センターし尿処理場完成
- 国鉄中央東線の複線化  
にともなう諏訪―塩尻  
間短絡問題おこる。
- 諏訪都市合併問題が機  
運高まる。
- 中央自動車道の諏訪ま  
わりがきまる。
- アメリカ合衆国マウン  
トブレザント市と都市  
提携できる。

# 市議会だより

三月十二日に開会された第三回定例市議会に、昭和四十一年度の岡谷市一般会計、特別会計の予算、および条例、補正予算など三十五議案が提出され審議されていましたが三月三十一日の本会議で全部の審議を終了し、二十日間にわたった市議会を閉じました。この市議会で審議した予算と一般議案のおもなものは次のとおりです。

## △予算

昭和四十一年度予算は、それぞれ原案のとおり可決されました。

この予算については、十五日号に「編成のあらまし」また本号二ページに予算の内容を掲載しました。

## △条例

①市職員の定数条例の改正をして、保育所の保育五名、消

防職員五名、じんかい収集自動車運転手一名、それに学校図書館給食事務員三名の増員が条例化されました。

②国民健康保険税条例の税率などの改正は、活発な討論があり、採決の結果原案どおり可決されましたが、このくわしいことは、六ページに掲載しました。

③真徳寮使用条例のうち、使用料金を次のとおり改正しました。

## 第三回定例市議会

## 昭和四十一年度一般会計予算きまる

### 保母・消防職員などの増員も

④病院料金条例をつくり、岡谷、塩嶺両病院の使用料、手

料金を一本化しました。

料金のおもなものは、  
証明書 二百円  
死亡診断書 三百円  
普通診断書 三百円  
普通健康診断 二百四十円  
分べん料初産 四千五百円  
〃 経産 四千円  
優生手術料 六千円

### 大税廃止案は否決

⑤市税条例のうち、法定外普通税として徴収していた大税を、四十一年度から廃止す

る。反対の理由としては、市民感情も廃止に反対の空気が強いし、市の財源も乏しいときであるので、廃止すべきではないというものです。

小学校機購入費など  
四千四百万円を追加  
△四十年度最終の補正予算  
昭和四十年度一般会計予算で、四千四百一十三万三千円を追加補正をされました。

## 岡谷市・市安全会議 県安全会議から表彰

岡谷市および岡谷市安全会議が、3月24日国民安全の日、長野県安全会議から表彰されました。岡谷市における安全運動が、市総ぐるみで推進され優秀な成績をあげたことが認められたものです。

終の手算額となりました。

追加されたおもなものは、岡谷市育英基金への積立金十

万円、庁舎周囲の排水側溝工事費八十一万円、公害調査費十五万円、市税の特別徴収奨励交付金三百九十五万円、小学校四、五年生のつくえ、腰かけの購入費四百四十万円、神明小学校敷地購入費二千八百万円、失対事業に使用する中型タンブカー購入費百四十万円などとなっています。

## △意見書

議員提出により「農業災害補償法にもとづく農業共済金額引き上げによる農家負担分県費助成をされたい」という趣旨の意見書を県知事あて提出することを満場一致きめました。

## 墓地統合など 担当委員会へ付託

## △請願

この議会に提出された請願は次の二件で、紹介議員の説明をうけ、それぞれ担当委員会に付託されました。  
①請願人小井川区総代中山由市氏はか十九名から提出の、「下西町線の湖岸まで延長について」  
②請願人岡谷市連合壮年会長小松忠幸氏はか評議員一同から提出の、「公園化された市営墓地設立ならびに墓地統合について」

## 農家の年間収入に 盛んになった シイタケ栽培

市内でシイタケ栽培が盛んに行なわれており、昨年の組合もできて経営が軌道にのってきました。シイタケは、ちかごろ多く利用され、また、三割くらいが輸出されています。

高冷地でも  
【写真】増  
沢真幾市さ  
ん方のハウ  
スによるシ  
イタケ栽培



| 料 金 の 区 別 |                  | 旧料金 | 改正料金 |
|-----------|------------------|-----|------|
| 市内<br>小包  | 2 kgまで           | 50円 | 70円  |
|           | 2 kgをこえる 2 kgごとに | 20  | 20   |
| 第一<br>地帯  | 2 kgまで           | 90  | 120  |
|           | 2 kgをこえる 2 kgごとに | 30  | 30   |
| 第二<br>地帯  | 2 kgまで           | 120 | 160  |
|           | 2 kgをこえる 2 kgごとに | 40  | 40   |
| 第三<br>地帯  | 2 kgまで           | 170 | 230  |
|           | 2 kgをこえる 2 kgごとに | 60  | 50   |

## 小包郵便物

## 四月から…

## 料金が改正

四月一日から小包郵便物の料金が、上表のように改正されました。  
このほか「書籍小包」の制度が新たに設けられました。  
くわしくはより  
の郵便局へお問い合  
わせください。

# 国保税の税率を改定

## 平均二割の増額

三月二十九日の市議会で、国民健康保険税の税率が改定され、昭和四十一年度分から適用されることになりました。40年度の給付額……

## 税負担額の2.5倍も

国民健康保険事業は、市の特別会計として、歳入歳出を独立採算でまかっています。しかし、医療費の値上がりやそれともなう給付額の増加で、収入支出の均衡がとれません。

昭和四十年度でみますと、保険税負担は一人二千五百四十四円で県下十八市の平均よりわずかに下ですが、これに比べ保険給付は一人五千四百二十

改定による負担増加  
ひとり平均月33円

そこで、税率を改定して、被保険者のみなさんにもう少し負担をお願いすることになりました。

この改定で、次の表のように税率は平均二割あがります。被保険者一人当たりの増加

税率を改定しなくてはならなくなつた理由としては、①年々医療費が値上げされ、それによる保険給付額が増加して大きな赤字が続いていること。

②昭和四十二年度中に、世帯員五割給付が七割に改善されることになっているため、ま

## 医療費値上がりで給付額増など

### 国保税率改定の理由

③国庫支出金も、増額運動をすすめた結果だんだんふえてきています。

額は年額三百九十五円、月額にするると三十三円です。しかし、これで約五百万円の赤字を減少できますが、まだ約五百四十万円の赤字が残る見込みです。

改定してもまだ赤字

国保財政のあらまし

○昭和四十年度決算見込み

歳入：七千六百万円

歳出：八千六百五十七万七千円

一般会計からの繰入金五百

万円を合わせても、差し引き赤字額五百五十七万七千円が見込まれています。

| 改定税率(税率は平均) |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 国保税         | 改定前         | 改定後         |
| 所得割         | 2.9<br>100  | 3.0<br>100  |
| 資産割         | 20.0<br>100 | 25.0<br>100 |
| 均等割         | 500円        | 700円        |
| 平等割         | 850円        | 1,200円      |

いっぽう、いまの市の税率は国の示す標準割合よりだいぶ下まわっていますので、これに近づけることもしなければなら

ないこと。……などがあげられます。

このほか、低所得者には百六十万円以上の減税配慮をしています。

## 岡谷市の紋章

岡谷市を表わす紋章は、昭和11年5月9日に制定されました。図のように上半円は岡、下半円は谷を象形しています。

【紋章の書き方】線の太さAは、円の直径B(外側まで)の10分の1です。

上下の円は同じ形であり、中心水平の位置に線の太さAの2分の1の間隔、

Cの切れめをつくりまします。円の大きさはいくらかでも変えることができます。



## 制度資金の融資

申し込みは4月11日から

中小企業のみなさんを対象に、次の制度資金融資の申し込みを受け付けています。

融資は、いづれも市内で同一の事業を一年以上経営している中小企業(商業も含む)のかたを対象としています。

一、中小企業合理化資金  
①資金用途：企業の近代化や合理化のための設備および運転資金。

②融資条件  
イ、一企業：二百万円以内  
ロ、融資期間：三か年以内  
ハ、利率：日歩二銭三厘以内  
ニ、中小工業近代化設備資金

①資金用途：設備資金  
②融資条件  
イ、一企業：五十万円以内  
ロ、融資期間：二か年以内

①資金用途：設備資金  
②融資条件  
イ、一企業：五十万円以内  
ロ、融資期間：二か年以内

(予)(防)(注)(射)

百日ゼキ・ジフテリア

第三回百日ゼキとジフテリアの混合予防注射をします。

▽対象：昭和40年9月1日から同年11月30日までの出生者

▽日どり  
4月18日

川岸支所：1時半～2時半  
長地支所：1時半～2時半

4月19日  
湊支所：1時半～2時半  
市役所：1時半～3時半

▽料金：65円

なお、該当するかたで通知が届かない場合は、当日受け付けへお申し込みください。

## チャイム時刻を変更

夕方5時30分に

四月一日から、消防署望楼で鳴らすチャイムの時刻を変更しました。

○朝の6時を5時に  
○夕方の5時を5時30分に